



(コラム)

関東の雪かき、札幌の雪かき

私の生まれ育った場所は「埼玉県所沢市」です。西武ドームがある街です。埼玉県と東京都の都県境、県の南西部に位置しています。人口は約34万人。埼玉でも3番目に人口の多い市です。ハウレンソウや狭山茶が昔ながらの名産品です。実は日本で初めて飛行場ができた航空発祥の地でもあるのです。(注1)

上州からのからっ風が吹きこむ関東平野ですから冬場は天気がよく、北風が強いのが特徴です。雪は、一年に2~3回降るか降らないかです。それでも、都心から40キロも離れると、都心では雨でも所沢まで帰ってくるとうっすら白く積もっていたりします。北海道の雪と違い気温が高いので、水分を多く含んだまま地上に降ってきます。

そんな重たい雪をかいていたのが鉄製のスコップでした。普段は庭仕事で使っていたものを兼用します。ほとんどの家が、重たい雪にもかかわらず、重たい鉄製のスコップで腰を痛めながら雪の処理をしていました。

私が高校から大学になるころに、ようやく出回りはじめた便利な道具が右の写真です。プラスチック製の重たくないスコップが画期的でした。今から20年くらい前の話です。ご近所こぞって、年に一度か二度の積雪のために購入したことを覚えています。



札幌にきて、びっくりしたのが下の写真(ママさんダンプ)です。これは、何に使うものなのか、雪が降るまでわかりませんでした。これに雪を山積みにして、裏の空き地や近くの公園に捨てに行くことは全く想像できませんでした。

住まいにも違いが見られます。例えば、所沢の住まいは屋根に雪止めを施していました。隣の敷地に雪が落ちないように、滑り止めがついているのです。湿った重たい雪なので、屋根に張り付いてしまうか、日光で融けてしまうか、雪が雨に変わって融かされてしまうかのいずれかしかりません。

また、隣との間に塀があること自体あまり見られないのが北海道です。これは冬場を考えれば納得できるのですが、関東の人間からするとお隣との境目がなく、物騒に感じます。

いろいろ文化の違いを感じながら生活するのも楽しいものです。



所沢で大雪(92年)



(注1) 航空発祥の地 所沢市観光協会HP <http://www.tokoro-kankou.jp/blog/002.html>